

洋上浮体式太陽光発電、自動航行帆船
(代表事業者：東急不動産株式会社)

1 実施内容

<洋上浮体式太陽光発電>

東京都が実施する「東京ベイ eSG プロジェクト」の令和4年度先行プロジェクトで事業採択された「洋上浮体式太陽光発電」のプロジェクトでは、中央防波堤エリア(海の森水上競技場(指定水面))にて発電設備の設置に向けた準備を進めております。2024年度初頭には設置を完了し、発電ならびに蓄電を行う予定です。

<自動航行帆船>

発電ならびに蓄電の実証と合わせて、洋上で創出されたエネルギーを輸送する為の方法のひとつとして、自動航行帆船の活用を想定しており、2023年9月に指定水面上を航行する実証を実施いたしました。



洋上浮体式太陽光発電設備(設置イメージ)



自動航行帆船航行実証の様子 (2023年9月撮影)

2 実施期間

令和4年11月から令和7年3月末まで（予定）

3 実施場所

中央防波堤エリア内 海の森水上競技場（指定水面）



4 事業実施者

東急不動産株式会社（代表事業者）

<https://www.tokyu-land.co.jp/news/2022/000805.html>(事業採択時リリース)

SolarDuck B.V.（共同事業者）

<https://solarduck.tech/solarduck-will-build-japans-first-offshore-floating-solar-demonstrator-in-tokyo-bay/>(事業採択時リリース)

エバーブルーテクノロジーズ株式会社（共同事業者）

<https://www.everblue.tech/pr-news/20221208>(事業採択時リリース)